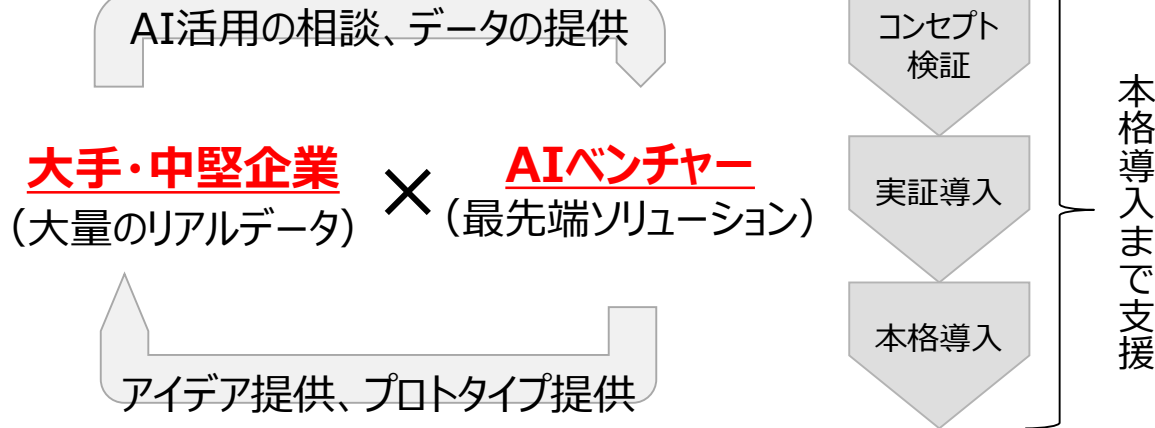


AIシステム共同開発支援事業（平成29年度補正予算事業）

- データ流通量が爆発的に増大する中、リアルデータをもつ大手・中堅企業とAIベンチャーによるAIシステム開発が国際的な競争力のカギ。AIシステム共同開発・本格導入までの事業費を補助。

予算額：24億円（2/3定率補助、最大2億円、約10～20件）

AIシステム開発支援



【大企業との連携例】

- ・自動走行×AI
物体認識の精度向上
- ・物流倉庫×AI
小物ピッキング、倉庫の自動化
- ・製造ライン×AI
製品の品質検査、
設備の保安検査の効率化
- ・化学プラント×AI
プロセス制御の匠の技の伝承
- ・飲食店×AI
ロボットによる調理の自動化

○支援条件のイメージ

- ・ AIベンチャーと大手・中堅企業が組んで応募すること。応募主体はAIベンチャー企業。
 - ✓ AIベンチャー：機械学習等の先端的なAI技術（ソフト、ハード問わず）と、その事業化能力を持っていること。
 - ✓ 大手・中堅企業：Connected Industries重点5分野を想定。リアルデータ・実証及び導入フィールドが十分に提供できること。
- ・ 加点要素として、以下を検討中。
 - ✓ エッジコンピューティング、ブロックチェーン等などの分散型の先端技術を取り入れた取組。
 - ✓ 日本国内市場のみならず、グローバル市場を見据えた市場の広がりが大きい取組。
⇒上記の要件を有するAIベンチャーと大手・中堅企業の連携によるAIシステム共同開発・本格導入までの事業費を補助。

○スケジュール：4月上旬に公募〆切。1次審査・2次審査を経て、7月上旬に交付決定。